

第5章 環境学習・啓発活動等

1 環境ひろばと市の共催事業

(1) 第18回環境シンポジウムの開催

多くの市民と環境問題について考える機会として、国分寺市環境ひろばと協働で環境シンポジウムを開催しました。

テーマ：国分寺の湧水・池・野川・水循環のまとめ ～地下水の恩恵～

講師：水循環研究所 所長 飯田 輝男 氏

日時：令和5年2月19日（日）

会場：リオンホール及びオンライン開催

参加者：125人（会場95人、オンライン30人）



(2) 国分寺まつり・環境まつりへの参加

例年、環境基本計画の紹介、国分寺市環境ひろばのPR及び省エネに関する情報提供などを目的に国分寺まつり、環境まつりに参加していますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

2 課別事業一覧

※**協働**…地域の様々な課題を解決していくために、自治の担い手である市民や事業者等と市が共通の目的を設定できる事柄について対等な協力関係の下に、それぞれができることを役割分担し、その実現に向けて協力して取り組むこと。

●防災安全課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
井戸端会議の実施	毎月1回実施 (11か所)	<p>地域社会における災害時の生活用水の確保、水と緑を通じた都市環境の保全、市民のふれあいの場の確保等を目的として設置した24か所(うち2か所は民間井戸)について市民と協働して維持・管理を行いました。</p> <p>11か所の井戸について、周辺に住んでいる市民防災推進委員や住民を中心として井戸端会議及びポンプ管理、清掃、簡易水質検査を行い、同時に防災に関する情報交換等を行いました。</p>
市民防災 まちづくり学校 (通算41回目)	11回実施 受講生33人 (修了者26人)	<p>防災都市づくりを総合的に進めるために、市民への防災まちづくりに関する教育、情報の提供を系統的・体系的に行って市民意識の高揚を図ると同時に、地域における市民防災の発展、あるいはまちづくりを自主的に推進するリーダーを養成することを目的としています。</p> <p>修了者数累計 1,471人 令和4年度修了者のうちから市民防災推進委員を26人認定しました。認定者数累計 1,325人</p>
協働 イザ! カエルキャラバン!	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しませんでした。	

●経済課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
市民農業大学	受講生 29 人 (うち修了生 24 人)	農業者が講師となり、市民が農作物の播種・定植から除草等の圃場管理・収穫まで一連の農作業を体験することによって、農業者と市民の相互理解を促進し、農業とふれ合う市民のすそ野を拡大しました。
援農ボランティア推進事業	市民農業大学で「援農ボランティア技術習得講座」を実施	市民農業大学受講生を対象に援農ボランティア技術取得講座を実施し、出席率により 24 人を東京都の「援農ボランティア」として認定しました。講座は実習（市民農業大学の実習を兼ねる）10 単位・座学 3 単位・体験学習（実務研修含む）3 単位を実施し、講座内容の充実を図りました。 平成 8～令和 4 年度に（公財）東京都農林水産振興財団が認定した「援農ボランティア」のうち派遣希望のあった 82 人を 18 戸の農家に派遣しました。
市民農園	全 4 農園 330 区画	市民が野菜の栽培を通じて土に親しむとともに、生産の喜びを味わい、市民相互の交流を深め豊かな余暇生活の実現を図りました。
親子農業体験教室	5 月～8 月 7 回実施 参加者 10 組 (20 人)	市内在住の小学生親子を対象に、市民農業大学修了生の指導により播種から収穫までを体験しました。
収穫体験付き野菜作り体験講習会	11 月 20 日、12 月 4 日 参加者 15 人	土作りから収穫までの作業を体験しました。

●健康推進課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
食育講座	6 月 25 日 参加者 24 人 7 月 28 日 参加者 10 人 11 月 17 日 参加者 25 人	親子食育講座 2 回、大人向け講座を実施しました。 (6 月 25 日)「親子で作る料理体験会 おいしく作って食べよう」 (7 月 28 日)「親子でクッキング体験会 おいしくて元気になるおやつのおべ方」 (11 月 17 日)「天平メニュー・国分寺ごはん 昔の食生活とバランスのいい食事」
	7 回実施 (動画配信 1 回含む) 参加者 177 人 (視聴回数 263 回)	食育に関する出前講座を子どもから高齢者を対象に実施しました。

●まちづくり計画課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 環境ひろば	毎月第3日曜日 (原則)	市民・事業者・市が一堂に会し、環境をテーマに意見交換を行う場として年11回開催するとともに、イベントでの啓発活動、環境シンポジウムを実施しました。
協働 環境シンポジウム	2月19日 参加者数125人 (会場95人、 オンライン30人)	環境ひろばと協働して、環境に関する講演会を実施しました。 第18回国分寺市環境シンポジウム テーマ：「国分寺の湧水・池・野川・水循環 ～地下水の恩恵～」 ・講師：水循環研究所 所長 飯田 輝男 氏 ・市内環境活動団体紹介（3団体）
アメリカザリガニ 捕獲大作戦	10月2日 参加者数 12組26人 (市内在住の小学生 と保護者)	姿見の池緑地において、外来生物による生態系等に及ぼす被害の軽減や自然に対する興味関心を育てることを目的に、小学生向けのイベントとして、外来生物であるアメリカザリガニの捕獲イベントを実施しました。（アメリカザリガニ捕獲数：39匹） また、国分寺市環境アドバイザーを招き、アメリカザリガニをはじめとした、外来生物と水辺の生きものをテーマにお話をいただき、外来生物の脅威や生物多様性の保全について普及啓発を行いました。
環境情報 ライブラリー	—	環境に関する図書・資料の閲覧に供するため、令和4年度版環境白書（環境省編集）を配架しました。
環境家計簿 モニター	期間 7月～9月（夏期） 12月～2月（冬期） 参加世帯 合計60世帯	家庭における電気・ガスの使用量を把握することで、省エネ意識を高め、地球温暖化防止に寄与することを目的として実施しました。 夏期と冬期にモニターを募集し、電気・ガスの使用量から算出した温室効果ガス排出量や各世帯で工夫したエコライフ（省エネルギー生活）の取組の報告を受け、取りまとめた結果を公表しました。

●交通対策課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 駅前放置自転車 クリーンキャンペーン	10月22日～10月31日	キャンペーン期間中は、放置自転車の放置防止指導を毎日実施するとともに、放置自転車の撤去回数を通常よりも増やし、撤去活動を強化しました。

●緑と公園課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 エックス山等緑地 保全事業	(作業) 毎月第2・3・4金曜日 (会議) 毎年1・4・7・10月 第2金曜日	エックス山等市民協議会と協働して、四半期ごとに1回意見交換を行うとともに、毎月3回(ただし会議日を除く)西恋ヶ窪緑地において維持管理作業を実施しました。定例作業のほか、樹木更新を実施するため、11月から2月までの間、週3回活動しました。
協働 砂川用水路維持 管理事業	毎月第1月曜日 毎月第2・4土曜日 定例作業	美しい用水の会と協働し、毎月3回の定例作業として、砂川用水のより良い環境維持を目的に、水路ののり面の除草やごみ揚げ清掃、樹木剪定などを実施しました。
協働 姿見の池周辺維持 管理事業	毎月第1・4日曜日 定例作業	緑と自然を育てる会と協働して、姿見の池周辺緑地において、良好な環境保全を目的に水路ののり面の除草、清掃及び草花等の補植・管理を実施しました。
エコミュージアム	12月2日 参加者 26人	市内を博物館に見立て、何気なく目にしている自然や生活環境を、歴史や文化・伝統に根ざした視点から、散策しました。平兵衛樹林地にはじまり、西町四丁目樹林地(中藤新田分水胎内堀)、国分寺崖線の始まった場所などを訪れました。
夏休みこども自然 教室(自習編)	各小学校へお知らせを配布、 ホームページで紹介	西恋ヶ窪樹林地において、植物の説明板の設置やセミの抜けガラを調べられる資料の作成を行い、ホームページで紹介しました。
バードウォッチング	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しませんでした。	
湧水源周辺散策	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しませんでした。	

●環境対策課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設 見学会	8月12日(金) 参加者 14人 8月19日(金) 参加者 3人	日野市に建設された3市(日野市・国分寺市・小金井市)の共同による可燃ごみ焼却処理施設(令和2年4月稼働)の見学を通じ、家庭から排出されるもやせるごみの処理工程等について学び、市民による「ごみの減量・資源化の推進」を図ることを目的として開催しています。
三多摩は一つなり 交流事業	参加者の都合により中止となりました。	
協働 喫煙マナーアップ キャンペーン	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しませんでした。	
協働 クリーン運動	11月13日(日) 参加団体 58 団体 参加者 2,218 人	国分寺市民クリーン運動実行委員会を主体に、自治会、老人会、各種団体等と連携し、ボランティア精神に基づいて自主的に清掃活動を行い、地域環境の向上を図ることを目的としています。 昭和51年に始まった国分寺市民クリーン運動も72回を数え、市民の間に定着し、11月に公共の場所での一斉清掃を実施しました。 平成27年度からひとりでも多くの市民に参加してもらうため、自治会・町内会など団体に加えて、各種団体に加入していない方やマンションの管理組合などに対しても参加を呼びかけました。

●ごみ減量推進課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 3R講座	6月～11月 6回 受講生 9人 (修了者 8人)	市のごみ処理、リサイクルの現状と処理について理解を深め、市と市民が協働して地域のごみ問題を解決するために、ボランティアリーダーの育成を目的とした3R講座を実施しました。 修了者のうち9人へ廃棄物減量等推進委員を委嘱しました。
協働 国分寺環境まつり (中止) リサイクル家具販売会&もったいない食器市	12月4日 会場 清掃センター 来場者 約300人	国分寺環境まつりは中止しましたが、規模を縮小して廃棄物減量等推進委員会と協働でリユースを目的とした「リサイクル家具販売会・もったいない食器市」を開催しました。公民館や清掃センターへ持ち込まれる陶磁器の無料配布や粗大ごみとして出された家具を修理して販売しました。その他にも、たい肥の無料配布等や、社会福祉協議会により家庭で余っているお米や缶詰等の持ち込みをしてもらうフードドライブを実施しました。
ごみの分別・ 出し方の啓発	イベント 1回	「リサイクル家具販売会・もったいない食器市」に分別よろず相談所を出店し、市民にごみの分け方・出し方を詳細に説明しました。
	分別出前講座 2回 参加者 24人 (内リモート3人)	市民からの依頼により、ごみや資源物の分別に関する説明会を実施しました。

●学校指導課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
授業における環境学習 浅川清流環境組合 の見学	全市立小学校	社会科副読本「わたしたちの国分寺」にはくらしとごみの単元があり、ごみの出し方、行方、量、再利用等について調べました。また、4年生を対象に浅川清流環境組合への施設見学を実施しました。
科学教室	(5年生コース) 年間延べ32回実施 参加者82人 (6年生コース) 年間延べ32回実施 参加者60人	5年生コースでは「光の科学」「親子野外観察」「大気化学」「水の科学」を、6年生コースでは「植物の科学」「土の科学」「電気の科学」を取り上げ観察や実験を行いました。
ジュニア科学教室 「宇宙の学校」	キッズコース 参加者 175組 ファンダメンタルコース 参加者 118人	キッズコース 5歳児から小学校2年生を対象 ファンダメンタルコース 小学3・4年生を対象 宇宙・身の周りの自然や不思議な現象を考え、自然科学をテーマとした実験・工作を行うことで、子どもの好奇心や冒険心を育むことを目的として、配布する科学冊子を用いた家庭学習と3回のスクーリングを実施しました。
学童体験農園	第六小学校で実施	農家の指導を受けながら、土づくり、種まきから収穫までの一連の作業を通して、児童に勤労の尊さや喜び、成就感を実感させるとともに協調性を養うことを目的に実施しました。

●社会教育課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
青少年地域リーダー講習会	4月～3月(10回) 参加者 23人	子どもからお年寄りまでの橋渡し役となり、豊かな地域づくりに貢献できる青少年のリーダー(中学生から大学生)を育てることを目的としてさまざまな講習会を実施しました。
わんぱく学校	4月～3月(11回) 参加者 40人	子どもたち(小学5・6年生)の感受性・人間性を伸ばし、地域の未来のリーダーとしての資質を育てることを目的として、野外活動や体験学習を実施しました。

●ふるさと文化財課		
事業名	開催日・参加者数等	事業内容・目的等
ゴールデンウイーク子どもイベント 「なぞときビンゴ」	4月30日～5月8日 参加者 66人	史跡内を歩いて回りクイズを解くイベント。参加した子どもたちは史跡を巡りビンゴ形式のクイズを解き、正解者には景品として、シールやクリアファイルを景品として渡した。
ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座	6月15日・7月6日・ 7月27日・9月7日・ 10月5日・10月19日・ 11月16日 参加者 24人	史跡ガイド・普及ボランティア・調査ボランティアの3部門のボランティアを募集し、国分寺市の歴史と文化財の保護、ボランティアの活動等についての講義と実習を実施。全7回
市外文化財めぐり	7月23日 参加者 21人	国分寺市の歴史を深く理解するため、山梨県笛吹市をバスツアーにて訪れ、武蔵国分寺跡と同時に史跡指定された甲斐国分寺跡や、関連する古代遺跡・文化財を見学した。また、釈迦堂遺跡博物館では、土偶作りワークショップも行い、縄文から古代についての見聞を広めた。
夏休み子どもプログラム 「ぬりえ」	7月23日～9月4日 参加者 15人	夏休み子どもプログラムのイベントの一環として、9種類のぬりえを用意し、武蔵国分寺跡資料館に来場した参加者に配布した。また、おたかの道湧水園でもぬりえ作業ができるスペースを用意し、希望に応じて作品の写真を撮り、資料館のデジタルサイネージで掲示した。
夏休み子どもプログラム 「レプリカをつくらう」	8月6日 参加者 20人	小中学生を対象とした文化財に触れるワークショップを開催し、鍔瓦や土器・石器等のレプリカ作成体験を実施した。
夏休み子どもプログラム 「拓本教室」	8月20日 参加者 25人 10月16日 参加者 57人	和紙を文字や文様が描かれた古代瓦の上に置き、クーピーペンシルで文字を浮き上がらせる手法の拓本教室を行った。体験前には瓦に刻まれた文字を理解できるように、武蔵国内の郡名がわかる地図や瓦の説明を掲載した資料で説明を行い、文化財への理解を深める機会とした。完成した拓本はハガキサイズの台紙に貼り付けて作品とした。

●ふるさと文化財課		
事業名	開催日・参加者数等	事業内容・目的等
こくぶんじジュニア 歴史検定	9月3日 参加者 10人	市内在住・在学の小学5・6年生を対象に、問題数30（4者択一）で40分間の検定時間を設けて実施した。成績優秀者には参加者全員に配布の認定証に加え、賞状と記念品を贈呈。成績優秀者は、史跡指定100周年記念講演会で表彰した。
都立武蔵国分寺公園連携事業 「むさしのガーデン紀行」 オープンカフェ 「ミニガイド」	10月9日 参加者 19人	むさしの・ガーデン紀行が行う「オープンカフェ&パネル展示」において、史跡地周辺のミニツアー及び武蔵国分寺の歴史にかかるパネル展示及び史跡の概要にかかる解説を行った。
市内文化財めぐり	10月10日 参加者 10人	国分寺の国指定重要文化財「木造薬師如来坐像」の御開帳に合わせて、史跡武蔵国分寺跡周辺をふるさと文化財課職員が案内。国分寺市観光協会と共催で実施（東京文化財ウィーク参加事業）
秋の子ども向けイベント 「歴史なぞときクイズ」	10月29日～11月6日 参加者 105人	教育7DAYS及び東京文化財ウィーク2022企画事業の一つとして実施した。武蔵国分寺跡資料館及び長屋門などにヒントがあるクイズとし、展示物にまつわる9つのクイズに答えることにより1つの言葉を完成させるものとした。
秋の子ども向けイベント 「レプリカをつくろう」	11月6日 参加者 18人	教育7DAYSの一環及び東京文化財ウィーク2022企画事業の一つとして実施した。同時開催の歴史なぞときクイズの参加やボランティアによる資料館案内、レプリカの見本となった遺物の解説などを実施した。
観光考古学会パネル ディスカッション 「武蔵国分寺跡の保存と観光活用」	11月19日 参加者 174人	プログラムは3部構成で行い、国分寺跡のこれまでの整備の経緯、崖線に隣接した豊かな自然環境との共存、今後の観光活用の展望等について、国分寺市と深いつながりのある府中市をはじめ、多くの有識者等による発表及びパネルディスカッションにより武蔵国分寺跡の観光資源としての活用について理解を深めた。
武蔵国分寺跡史跡指定・住田正二先生生誕100周年記念歴史講演会「武蔵国分寺の造営と文字瓦」	12月11日 参加者 144人	文化財資料展示室にて展示されている極めて学術性が高い古瓦は、故住田正一氏が収集し、2005年に御子息である故住田正二氏が理事長を務めた公益財団法人交通研究会より寄託された資料である。武蔵国分寺跡が国指定史跡となった令和4年は住田正二氏の生誕100周年でもあるため、この2つの100周年を記念した歴史講演会を開催した。
「川崎・伊奈両代官謝恩塔」保存修理記念公開解説	3月12日 参加者 45人	昭和39年に市の文化財として指定した「川崎・伊奈両代官謝恩塔」は、表面に刻まれた文字が剥落するなど石材の劣化の進行が著しかったため、令和4年度に保存修復工事を実施。並木公民館歴史講座「玉川上水と『上水記』」の講座に合わせて、講座の当日に修復された塔のお披露目及び、現地説明を実施した。

●公民館事業			
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等	
本多公民館	環境講座〈ごみを減らそう 分別マスターへの道 ～清潔で環境に優しいまちへ～〉	10月(3回) 参加者 11人 延べ 22人	ごみの減量・資源化について、講義と施設見学を通して学ぶ。講義では解説を聞くだけでなく、クイズ、迷いやすいごみの現物を用いた分別体験、DVDの視聴等も行いながら理解を深める。施設見学では、日野市・国分寺市・小金井市共同の「浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設」と、隣接する「日野市クリーンセンター」に伺い、ごみ・資源物を処理する上での課題等を知る機会とする。最終回では、グループワークを通し、今後の生活で自分たちができることを具体的に考える。
恋ヶ窪公民館	自然環境講座 〈恋ヶ窪の自然を探る〉	9月(2回) 参加者 13人 延べ 24人	身近な自然環境を理解する切り口として、一回目には、恋ヶ窪の自然環境と人びとの暮らしがどのように関わってきたかを学ぶ。二回目に姿見の池をメインにしたフィールドワークを行い、地域の再発見の機会とする。
	ジュニアサロン まなびの広場 〈SDGsを学ぶ～みつろうラップを手作りしよう～〉	12月(1回) 参加者 5人	地球温暖化への危機感が高まっている現在では、環境にやさしい行動が当たり前として位置づけられつつある。そのため、SDGsの目標の一つである「つくる責任、使う責任」について子どもが考え、自分たちの行動が及ぼす影響と改善策を日常生活とむすびつけて考えられるようにする。そのきっかけの一つとして「みつろうラップ」を自らつくり、正しい使い方とそれを使う効果について学ぶ。
光公民館	環境講座〈ミライを変える小さな一歩～地球と地域のいまを知ろう～〉	11月(全2回) 参加者 34人 延べ 43人	各地に影響を及ぼしている異常気象にみられる気候変動の現状と、海洋プラスチック汚染の状況について知り、私たちの暮らしと地球規模の現象との繋がりを認識し、日々の生活のなかでできる工夫を考える機会とする。 第1回では、オランダ・アムステルダムに本部を置き、世界55か国以上で活動する国際環境NGO職員のお話から学ぶ。 第2回では、地域住民による廃棄物減量等推進委員会メンバーの進行で、各家庭でできるごみ分別のポイントを講義とクイズで楽しく身につける。
もとまち公民館	植物観察講座 〈武蔵国分寺さんぽ〉	5・7・9・11月 (全4回) 参加者 15人 延べ 53人	史跡指定100年を迎える武蔵国分寺跡を、遺構の残る場所としてだけでなく、さまざまな植物をたのしむ場所として親んでもらうため、植物観察家の鈴木純さんを講師に迎え、通年の植物観察会(3回)を行う。また、史跡の植生とその変遷について学ぶ座学講座(1回)を実施した。
	社会教育実習生 とつくる講座 〈低山からはじめる山歩き〉	12月(2回) 参加者 19人 延べ 29人	初心者向けの登山に関する知識や山の魅力を紹介する。1回目は山の魅力はさまざまであるが、本講座では登山を通じた山の魅力について焦点を当てて紹介、2回目は実際に高尾山に登ってみる。
	SDGs講座 〈今日からはじめるSDGs〉	7月(2回) 参加者 16人 延べ 25人	SDGsについて正しく理解してもらい、気軽に考えてもらうためにSDGsのカードゲーム『2030 SDGs』をプレーしてもらい、考え方や取り組みについて体験しながら学んでもらう。また国分寺でSDGsに関する取り組みをすで実践している方を講師に招き、市内の事例について語ってもらうことで、SDGsについてより身近な問題として認識してもらう。
並木公民館	農業体験講座 (並木ファーマーズ)	4月～9月(全45回) 参加者31人・延べ1,065人 10月～3月(全44回) 参加者33人・延べ960人	地元の農家の方の協力・実技指導を得ながら約40種類の作物を、仲間と育て収穫をした。 参加者同士が農業を通して結びつくことで、地域理解と都市型農業について考えるきっかけとする。
	子ども農業体験講座	5月～10月 (全11回) 参加者 20人 延べ 164人	野菜の播種、苗植え、収穫までを体験した。 農作業を通じ、命を育てることや自然環境の大切さを地域の人たちとともに学び、自然との共生を意識するきっかけづくりとする。また、農作業を通じ地場野菜への興味関心を高め、地場の農作物についての知識を深めることも目的としている。